

スペイン・サン・セバスティアン市およびビルバオ市への出張について①

■訪問期間

9月18日(木)～20日(土)

■訪問目的

サン・セバスティアン市役所およびサン・セバスティアン国際映画祭と**友好交流を促進するための覚書（MOU）を締結する**とともに、文化芸術・食関連施設など幅広い分野の視察を行い、都市の魅力を向上させる取り組みの参考にする

スペイン・サン・セバスティアン市およびビルバオ市への出張について②

■ **サン・セバスティアン市役所との覚書**の締結
両市において強みを有する、
映像産業・食産業の発展に向けた取り組みを
共有し、経済分野の協力関係を構築する



■ **サン・セバスティアン国際映画祭との覚書**の締結
北海道フービーフェスティバルと
サン・セバスティアン国際映画祭との間で、
上映作品の交流や、人材育成などの
知見を共有し、両映画祭を発展させる



スペイン・サン・セバスティアン市およびビルバオ市への出張について③

■主な視察先

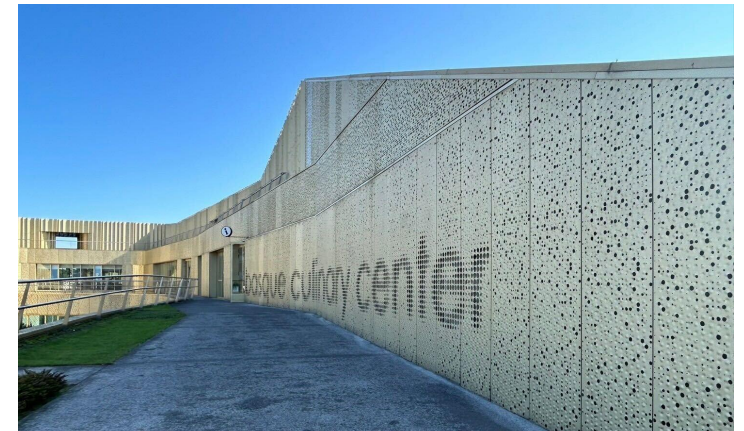
①ビルバオ市：グッゲンハイム美術館

- ・ 1997年設立
- ・ 斬新な建築デザインが世界的に評価



②サン・セバスティアン市：BCC(バスク・カリナリーセンター)

- ・ 2011年設立
- ・ 料理の学位を取得でき、
研究機関としても充実



●スペイン・サン・セバスティアン市およびビルバオ市への出張について

このたび、「美食の街」として名高いスペイン王国バスク州サン・セバスティアン市を舞台に開催される「サン・セバスティアン国際映画祭」から、オープニングセレモニーへの招待を受けたため、2025年9月18日から20日までの間、同市および同国バスク州で最大の人口であり、文化創造都市として知られるビルバオ市を訪問します。

滞在中は、サン・セバスティアン市役所との間で経済交流に関する覚書（MOU）を締結するとともに、北海道フービーフェスティバル名誉委員長として、サン・セバスティアン国際映画祭と友好交流を促進するための覚書（MOU）を締結します。

両市の文化芸術、食関係など幅広い分野の視察を行い、両市との友好を深め、今後のまちづくりに生かしてまいります。

1 主なスケジュール

日程	スケジュール内容
9月16日（火） 9月17日（水）	移動日
9月18日（木）	ビルバオ市訪問 ・ビルバオ市役所訪問・意見交換 ・ビルバオ・グッゲンハイム美術館視察
9月19日（金） 9月20日（土）	サンセバスティアン市訪問 ・サン・セバスティアン市長表敬訪問、サン・セバスティアン市役所との連携協定締結 ・サン・セバスティアン国際映画祭と北海道フービーフェスティバルとの連携協定締結 ・サン・セバスティアン国際映画祭オープニングセレモニー出席、映画祭視察、映画関係者等との意見交換 ・バスク州政府訪問・意見交換 ・BCC（バスク・カリナリーセンター）視察 ・エリアス・ケレヘタ映画学校視察
9月21日（日） 9月22日（月）	移動日

2 スペイン（ビルバオ市、サン・セバスティアン市）訪問について

(1) 訪問者 計8人

秋元市長、市長秘書1人、坂井経済観光局長、産業振興部職員2人、北海道フービーフェスティバル実行委員会3人

(2) サン・セバスティアン市役所との覚書（MOU）の概要

札幌市とサン・セバスティアン市は、観光・食をはじめ経済分野において共通する強みを持つことから、映像産業の発展や食分野の産業振興などに係る取り組みを共有し、両市産業の一層の発展に向けて協力関係を構築することを目的とする。

(3) サン・セバスティアン国際映画祭との覚書（MOU）の概要

北海道フービーフェスティバル（名誉委員長：秋元市長）とサン・セバスティアン国際映画祭（ゼネラルディレクター：ホセリス・レボルディノス）との間で、両映画祭の発展に向け、相互に映画作品を上映するよう努めるとともに、映画人材育成などの知見を共有することを目的とする。

<参考：サン・セバスティアン国際映画祭の概要>

1952年に創設、2025年で73回目の開催となる。ヨーロッパでは、ベルリン、ベネチア、カンヌに次ぐ規模と言われる世界有数の国際映画祭。毎年9月に開催され、著名な監督や俳優が集うほか、新作映画の発表や国際的なプレミア上映の舞台となる。食をテーマとした「カリナリーシネマ部門」など、12部門におおむね5～10作品がノミネートされ、市内8つの劇場・映画館にて、一週間に約200以上の作品が上映される。

(4) 視察先の概要

①ビルバオ・グッゲンハイム美術館

重工業の衰退と環境汚染で低迷していたビルバオ市において、1997年に再開発プロジェクトの核として建設された現代美術館。斬新な建築が世界的に注目を集め、美術館を中心とする都市開発により多くの観光客・投資を呼び込む。2009年に、ビルバオ市は、同美術館の成功によりユネスコ創造都市ネットワークの「デザイン都市」に認定され、デザインと創造産業を軸に世界的に評価される都市へと転換したことで知られている。

②BCC(バスク・カリナリーセンター)

2011年にサン・セバスティアン市に設立された国際的な食の高等教育・研究機関。料理の学位を取得できる4年生の大学のほか、修士課程・博士課程を備え、調理技術や美食科学（ガストロノミーサイエンス）、マーケティング、食文化などを学ぶことができる。同センターに2019年に開設した「LABe（ラベ）」は、食に関するスタートアップ企業やレストランを併設し、美食をデジタル化するためのイノベーションセンターとして確立している。2025年11月には、次世代の教育・事業共創の機能として展開する「G0e（ゴエ）」も新たに開設する予定。

③エリアス・ケレヘタ映画学校

2017年にサン・セバスティアン市の国際現代文化センター内に設立された映画教育学校であり、若手クリエイターの育成を目的に、映画制作・理論・批評・アーカイブ研究を総合的に学ぶ。学生は、サン・セバスティアン国際映画祭の「NEST部門（国際映画学生集会部門）」に作品を出品し、業界の専門家と交流する機会を得るなど、映画祭との連携も進んでいる。

<参考：「北海道フービーフェスティバル2025」の開催について>

(1) 北海道フービーフェスティバルについて

北海道・札幌の強みである「食」と発信力のある「映像」を組み合わせた、サン・セバスティアン国際映画祭をモデルに2024年に創設した新しい形の映画祭。

2024年は、北海道の食や風景の魅力を発信するドキュメンタリー映画「北の食景」がサン・セバスティアン国際映画祭カリナリー・シネマ部門にノミネートされるなど、同映画祭と交流が続いている。

(2) 日程

10月10日（金）～12日（日）

(3) 会場

北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）、札幌シネマフロンティア、T0H0シネマズほか

(4) 主催

札幌・北海道フービーフェスティバル実行委員会（構成員：クリエイティブオフィスキュー、北海道新聞、札幌市）

(5) 内容

①オープニングイベント

スペシャルサポーターのTEAM NACS、俳優、映画監督、札幌市長などが登場するレッドカーペットセレモニーを北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）にて開催。

②フービーランチ・ディナー

食に関する映画を上映した後、TEAM NACSをはじめとするタレント・映画監督などがトークショーを行うほか、一部の会場では、映画にまつわる料理などを提供。

③サッポロフービーバル

映画を鑑賞した方などが、お得にドリンクや料理等を市内約50の飲食店で楽しめるデジタルクーポン等を提供。

④世界料理学会 in FOOVIE

気鋭の料理人が料理哲学や食への情熱を語り合うカンファレンスを実施。

⑤サン・セバスティアン国際映画祭連携企画

2025年サン・セバスティアン国際映画祭のカリナリー・シネマ部門に選出された日本人シェフが登場する伝記的ドキュメンタリーのスペイン映画「TETSU, TXISPA, HOSHI（テツ、チスパ、ホシ）」を日本プレミア上映。

【問い合わせ先】

経済観光局産業振興部産業振興課 田中、佐野
電話：211-2392